

第二次世界大戦末期の内邦諸図について

清水靖夫（国土館大学・非）

第二次世界大戦末期の昭和 19・20(1944・45)年、参謀本部、作業は傘下の陸地測量部が、戦地の外邦図作製に躍起となっていた時、内邦図諸図はどのような状況に置かれていたか、残されている諸地図から状況を眺めてみたい。

往時の記録や作業状況を記したものは、ほとんど無く、戦後編集された『測量・地図百年史』上に僅かに記されているのみで、あとは、当時の「地図一覧図」上から読み取る以外、紙上に記録されているものは、現在のところ知られていない。なお外邦図という特定名称は、内邦図の対語として誕生している。

昭和 16(1941)年一般の人々への地形図類の販売が停止された。もっとも教育、土木等必要な向きには、許可証が有れば限定的に購入は可能であったようである。

国土地理院の図歴記録に欠落している地図群がある。いずれも当時陸地測量部の上部機関であった参謀本部作製の地図群である。直接戦闘用と記された地図群であったため、終戦後社会を憚り外邦地域の地図とともに刊行図でもなかったため、あえて外したとも考えられる。

昨年(2004)の研究会で「終戦前後の日本周辺の地形図」として一部発表提示させて頂いた内容は「集成二十万分一帝国図」、「集成五万分一地形図」、「陸海作戦用図」、「陸海編合図」などについてであった。いずれも終戦直前における、日本本土作戦用の地図類であり、以下は現在までの知見の記録である。欠落部分、記録等大方の御教示を賜りたいと願っている。

集成五万分一地形図

本土作戦用地図、通称を「マルタ」(記号タ)と呼んでいた。主として太平洋沿岸に作製されたからであった。地図の特定名称は「集成五万分一地形図」である。その内容は以下に示す通りである。

作製面数:不詳だが 168 面以上。

作製地域:津軽海峡から本州太平洋沿岸、瀬戸内

海、九州沿岸。

作製年:昭和 20(1945)年製版。

作製者:参謀本部。

体裁:四六判、1色刷、1kmの距離方眼が描かれている。

原則として5万分1地形図4面を集成、20万分1帝国図を基準に5万分1の1・2・5・6を1号、3・4・7・8を2号、9・10・13・14を3号、11・12・15・16を4号とし、必要に応じて5万分1を1面～3面を集成したものもある。

本図群は昭和 20 年製版と上述したが、集成された5万分1は使用目的から当時最新の測量年次の地図を集成したもので、軍事施設等名称がそのまま入っており、戦後の刊行図では名称等を消去してしまったので、記録としても価値が有ろう。参考に神奈川県相模原市付近を図 3 に示した。なお不思議な事に同地域に同じ体裁で同じ軍事極秘扱いの内容の異なる図が存在する事が判った。参考までに図示すると、昭和初期の版で、鉄道等に戦時改描がみられる。当時ほとんどの外邦図作製作業が民間の印刷業者に外注されていたので、この「マルタ」についても同じであり、地図によっては図郭右下に印刷所のロゴマークが描かれており、地図の陸地測量部からの供給が適切でなかったのかもしれない。

また、戦後販売された地形図の中で主として太平洋沿岸に、昭和 19・20(1944・45)年に沿岸部の港湾施設等にあまり上手でない部分修正がみられる。昭和 22～24(1947～49)年の地図一覧図をベースにした「集成五万分一地形図」の作製地区一覧図中に、該当する修正図の位置を斜線で示してみた。この部分修正は「集成五万分一地形図」のためか、あるいは後述する「陸海作戦用図」のためあるいは、両方の為のものか、修正地域の分布には興味もてる。「集成五万分一地形図」の秘扱いの区分は以下のリストの通りである。秘扱いの区分が示されていないものは、実見していない図である。

集成二十万分一帝国図

樺太から九州までを「集成五万分一地形図」と同じ形で「集成二十万分一帝国図」が作製されていた。その内容は以下の通りである。

作製面数:34 面

作製地域:南樺太～九州、千島列島と南西諸島の島々は作製されていない。

作製年:昭和20(1945)年製版。

作製者:参謀本部。

体裁:四六判ほか、1～3色刷、1kmの距離方眼が描かれているものと無いものがある。

秘密の取り扱い基準はすべて「部外秘」であり、墨1色のほか等高線が緑、茶などがあり、湾入や港湾の沿岸には等深線が部分的に描かれている。帝国図(現今の地勢図の前身)2～5面が集成されている。集成されている図幅名は以下の通りである。

集成二十万分一帝国図

(昭和20年製版 参謀本部 すべて部外秘)

[号数] [包含される図幅名]

1～9 (南樺太、北海道)

- 10 尻屋崎 野辺地 函館 青森 渡島大島
- 11 野辺地 八戸 青森 弘前
- 12 盛岡 一関 秋田 新庄
- 13 石巻 仙台 福島
- 14 白河 水戸 日光 宇都宮
- 15 佐倉 大多喜 東京 横須賀
- 16 村上 新潟 相川 長岡
- 17 高田 長野
- 18 甲府 静岡
- 19 三宅島 御蔵島 御子元島
- 20 珠洲岬 輪島
- 21 富山 高山 七尾 金沢
- 22 飯田 豊橋 岐阜 名古屋
- 23 伊良湖岬 宇治山田 木本
- 24 宮津 京都及大阪 鳥取 姫路
- 25 和歌山 田辺 徳島 剣山
- 26 西郷 松江 大社
- 27 高梁 岡山及丸亀 浜田 広島
- 28 高知 窪川 松山 宇和島
- 29 見島 山口 小串

- 30 中津 大分 小倉 熊本
- 31 延岡 宮崎 八代 鹿児島
- 32 巖原 唐津 長崎 福江
- 33 野母崎 甑島 富江
- 34 開聞岳 屋久島 黒島

集成五万分一地形図 [マルタタ]

(昭和20年製版参謀本部)

[図名称] / [取扱]

[図名称] / [取扱]

- | | |
|-------------|----------|
| 尻屋崎3号函館1号/- | 京都及大阪1/- |
| 尻屋崎4/- | " 2/- |
| 函館1・3/- | " 3/- |
| " 2/- | " 4/秘 |
| " 4/- | 和歌山1/- |
| 野辺地3/軍事極秘 | " 2/- |
| " 4/- | " 3/- |
| 青森1/軍事極秘 | " 4/- |
| " 2/軍事極秘 | 田辺1/秘 |
| " 3/軍事極秘 | " 2/秘 |
| " 4/軍事極秘 | " 3/秘 |
| 八戸1/軍事秘密 | " 4/ |
| " 2/軍事秘密 | 姫路2/秘 |
| " 3/軍事秘密 | 徳島1/- |
| " 4/秘 | " 2/軍事極秘 |
| 盛岡1/秘 | " 3/- |
| " 2/軍事秘密 | " 4/- |
| " 3/秘 | 剣山1/軍事極秘 |
| " 4/秘 | " 3/秘 |
| 一関1/- | " 4/秘 |
| " 2/- | 岡山及丸亀1/- |
| " 3/- | " 2/- |
| " 4/- | " 3/- |
| 石巻1・2/軍事秘密 | " 4/- |
| " 3/軍事秘密 | 高知1/- |
| " 4/軍事秘密 | " 2/秘 |
| 仙台1/- | " 3/秘 |
| " 2/- | " 4/秘 |
| 福島1/秘 | 窪川3/秘 |
| " 2/秘 | 広島1/- |
| 白河1/秘 | " 2/- |
| " 2/軍事秘密 | " 3/- |

〃 3 / 軍事秘密
〃 4 / 軍事秘密
水戸 1 号 / 秘
〃 2 / 軍事秘密
〃 3 / 軍事秘密
〃 4 / -
佐倉 1 / -
〃 2 / -
〃 3 / 軍事秘密
〃 4 / 軍事極秘
大多喜 3 / 軍事極秘
日光 2 / -
宇都宮 1 / -
〃 2 / 秘
〃 3 / 軍事秘密
〃 4 / -
東京 1 / 秘
〃 2 / 軍事極秘
〃 3 / 軍事極秘
〃 4 / 軍事極秘
横須賀 1 / 軍事極秘
〃 2 / 軍事極秘
〃 3 / -
〃 4 静岡 2 / 軍事極秘
長野 1 / 秘
〃 2 / 秘
甲府 1 / 軍事秘密
〃 2 / 秘
〃 3 / 秘
〃 4 / 軍事秘密
静岡 1 / -
〃 3 / -
〃 4 / -
御子元島 1 / -
〃 3 / -
飯田 4 / -
豊橋 1 / 秘
〃 2 / -
〃 3 / -
〃 4 / -
伊良湖岬 1 / -

〃 4 / -
松山 1 / -
〃 2 / 秘
〃 3 / 軍事極秘
〃 4 / 軍事極秘
宇和島 1 / 秘
〃 2 / 軍事極秘
〃 3 / -
〃 4 / 軍事極秘
山口 3 小串 1 / 軍事極秘
〃 4 〃 2 / 軍事極秘
中津 1 / 軍事極秘
〃 2 号 / 秘
〃 3 / 軍事極秘
〃 4 / 秘
大分 1 / -
〃 2 / -
〃 3 / -
〃 4 / -
延岡 1 / 秘
〃 2 / 秘
〃 3 / -
〃 4 / -
宮崎 3 / 軍事秘密
〃 4 / 軍事秘密
小倉 1 / -
〃 2 / -
〃 3 / -
〃 4 / -
熊本 1 / 秘
〃 2 / 秘
〃 3 / -
〃 4 / 秘
八代 1 / -
〃 2 / 秘
〃 3 / -
〃 4 / 秘
鹿児島 1 / 軍事秘密
〃 2 / 軍事秘密
〃 3 / 軍事秘密
〃 4 / 軍事秘密

〃 3 / 秘
岐阜 2 / -
〃 4 / -
名古屋 1 / 軍事秘密
〃 2 / -
〃 3 / 秘
〃 4 / -
宇治山田 1 / 軍事秘密
〃 2 / 軍事秘密
〃 3 / 秘
〃 4 / 秘
木本 3 / 秘

開聞岳 1 東 / 軍事秘密
〃 1 / 軍事秘密
〃 3 / -
唐津 1 / 軍事極秘
〃 2 / 軍事極秘
唐津 4 長崎 3 / -
長崎 1 / 軍事極秘
〃 3・4 / -
野母崎 1 / 軍事極秘

陸海作戦用図

「陸海作戦用図」は、北海道から九州までの主として平滑な海岸にたいして作製された。国内戦にむけて、敵兵の上陸しやすい平滑な砂浜を含む沿岸一帯に作製されたようである。詳細な記録は未見であるが、以下の通りである。

作製面数：不詳。

取扱：陸軍 軍事秘密（戦地に限り極秘）

海軍 軍極秘（戦地に限り用済後焼却）

作製地域：太平洋岸、東シナ海沿岸。

作製年：昭和 20(1945)年作製。

作製者：参謀本部(陸軍)、軍令部(海軍)。

体裁：四六判、3 色刷、経緯度 1 分毎の方眼、35 度・41 度のメルカトル図法。

本図群は、陸軍は参謀本部と海軍は軍令部の名前で作製されており、調製者として陸軍は陸地測量部、海軍は水路部の名前になっている。陸地部分は 5 万分 1 地形図に薄い黄色の地色をかけ、水部は水深数字が描き込まれており、等深線も 5,10,20,200m が挿入されている。図郭外上部に「1.本図ハ陸図ヲ主用セル関係上、地名等ハ右読ナリ、但シ欄外記事ハ左読トス 2.海部ハ小尺度ノ海図ヲ拡大セルモノナルニ付航海用トシテハ不適當ナリ(原文旧漢字)」とあり、両部内特に陸地測量部主導で作られたようである。外注による作製のロゴはない。「集成五万分一地形図」通称マルタについては、『測量・地図百年史』に簡単な記載はあったが、本図群に関する記載は無く、『日本水路史』中にも全く触れられていない。図郭範囲等は以下に示す。

陸海作戦用図

[昭和20年作製、参謀本部(陸軍)軍事秘密、軍令部(海軍)軍極秘]

[整理番号] / [図名] / [経度] / [緯度] / [図形]

北海道 1:50,000 昭和20年4月作製(35°基準)

其ノ一/十勝附近/143° 29 -144° /42° 39 -57 /横長

其ノ二/湧洞附近/143° 17 -40 /42° 12 -39 /縦長

其ノ三/襟裳岬附近/143° 04 -27 /41° 45 -42° 12 /"

其ノ四/浜厚真附近/141° 38 -142° 01 /42° 24 -50 /"

其ノ五/苫小牧附近/141° 15 -29 /42° 24 -50 /"

東北 1:50,000 昭和20年4月作製(41°基準)

其ノ二/三澤附近/141° 05 -30 /40° 34 -41° /縦長

関東 1:100,000 昭和20年3月作製(35°基準)

其ノ二/千葉附近/141° 08 -55 /34° 52 -35° 44 /縦長

九州 1:50,000 昭和20年3月作製(35°基準)

其ノ五/宮崎附近/131° 18 14"-40 30"/31° 49 -32° 16 /縦長

其ノ六/油津附近/131° 14 30"-35 48"/31° 22 -49 /"

其ノ八/鹿児島附近/130° 29 -52 /31° 26 -53 /"

其ノ十/串木野附近/130° 06 -29 /31° 26 -53 /"

陸海編合図

千島列島から南西諸島まで、太平洋岸の全ての島嶼について、陸上部分を5万分1地形図で、海洋部分を小縮尺海図を拡大した海図で、島嶼の周辺をの海底の大意が判るように編集されたもの。

昭和19年10月の内邦地域地図整備目録中に大部分は収録されているが、色丹島、小笠原群島の各島嶼が記載されていない。これらは実際に存在するので、この地図目録完成後に作製されたものと思われる。島嶼の地形図は、海洋部分が大きな地図が多く、一覧するのに不便であるところから地形図数面を接合し、海洋部分を充当したもので、1色刷で方眼は描かれていない。作製地域は以下に示す通りである。

陸海編合図

(1:50,000 昭和19年製版ほか 参謀本部軍事秘密)

[図名] [所属島嶼]

幌筵島其1~5...占守島幌筵島東端 幌筵島南東部分
阿頼渡島幌筵島北部 幌筵島中部 幌筵島南西部
温禰古丹島...温禰古丹島 磨勘留島 帆掛岩 春牟古丹島

捨子古丹島...捨子古丹島 越湯磨島 知林古丹島 牟知列岩

羅處和島及宇志知島...羅處和島 宇志知島 雷公計島 松輪島 計吐夷島

新知島其1・2...新知島北東部 新知島南西部

得撫島其1~4...得撫島東端部 得撫島中北部武魯頓島知理保以南北島 得撫島南東部 得撫島南西端

擇捉島其1~8...擇捉島北東から南西に8分割

國後島其1~4...國後島北東から南西に4分割

色丹島.....昭和19年の一覽図になし[国会図書館所蔵図あり]

多樂島及志發島...多樂島志發島ほか

伊豆七島...大島 利島 新島 神津島 三宅島 御蔵島 八丈島 青ヶ島 須美壽島 周辺小島

小笠原諸島...昭和19年の一覽図になし[個々の島嶼の地図あり]

大隅列島其1~3...種子島北部 種子島南部 屋久島 口永良部島

奄美群島其1~3...奄美大島東部吐口葛口刺諸島喜界島 大島西部加計呂麻島請島 硫黄島 徳之島 與論島

沖縄群島其1~5...沖縄本島東部 伊平屋諸島 沖縄本島中部 伊江島 沖縄本島南部 久米島慶良間列島

南大東島...北大東島 南大東島 沖大東島

先島群島其1~3...宮古島 伊良部島 魚釣島 石垣島 多良間島 西表島 與那國島

兵用集成図

戦場となる可能性のある島嶼の一覧の為、千島列島、小笠原群島の島々の5万分1を10万分1に縮小集成的なもの。沖縄の島々については、さらに20万分1を集成している。この集成図については以下に示した。

集成図

(昭和19年製版ほか 参謀本部軍事秘密)

[地域]	[縮尺]
千島列島北部	1:100,000
千島列島中部	1:100,000
千島列島南部	1:100,000
小笠原群島	1:50,000
南西諸島兵用地誌資料図其ノ一	全体図 1:1,000,000 各島嶼 1:200,000
南西諸島兵用地誌資料図其ノ二	

はじめに記したが、今回紹介した諸図は、外邦図と同じくわが国の地図史のなかで従来記されていなかった地図群であった。仮に負の遺産的な要素を含んでいたとしても、直接触れなかったが、歴史の流れの中で、また技術史のなかで大きな役割を果たし、戦後の発展の萌芽も見ることができよう。なんとか全貌をつかみたいものである。



図1 本土作戦用地図、通称「マルタ」集成五万分之一地形図 集成二十万分之一帝国図作製範囲
左上から右下への斜線は昭和19・20(1944・45)年部分修正が行なわれた図幅。

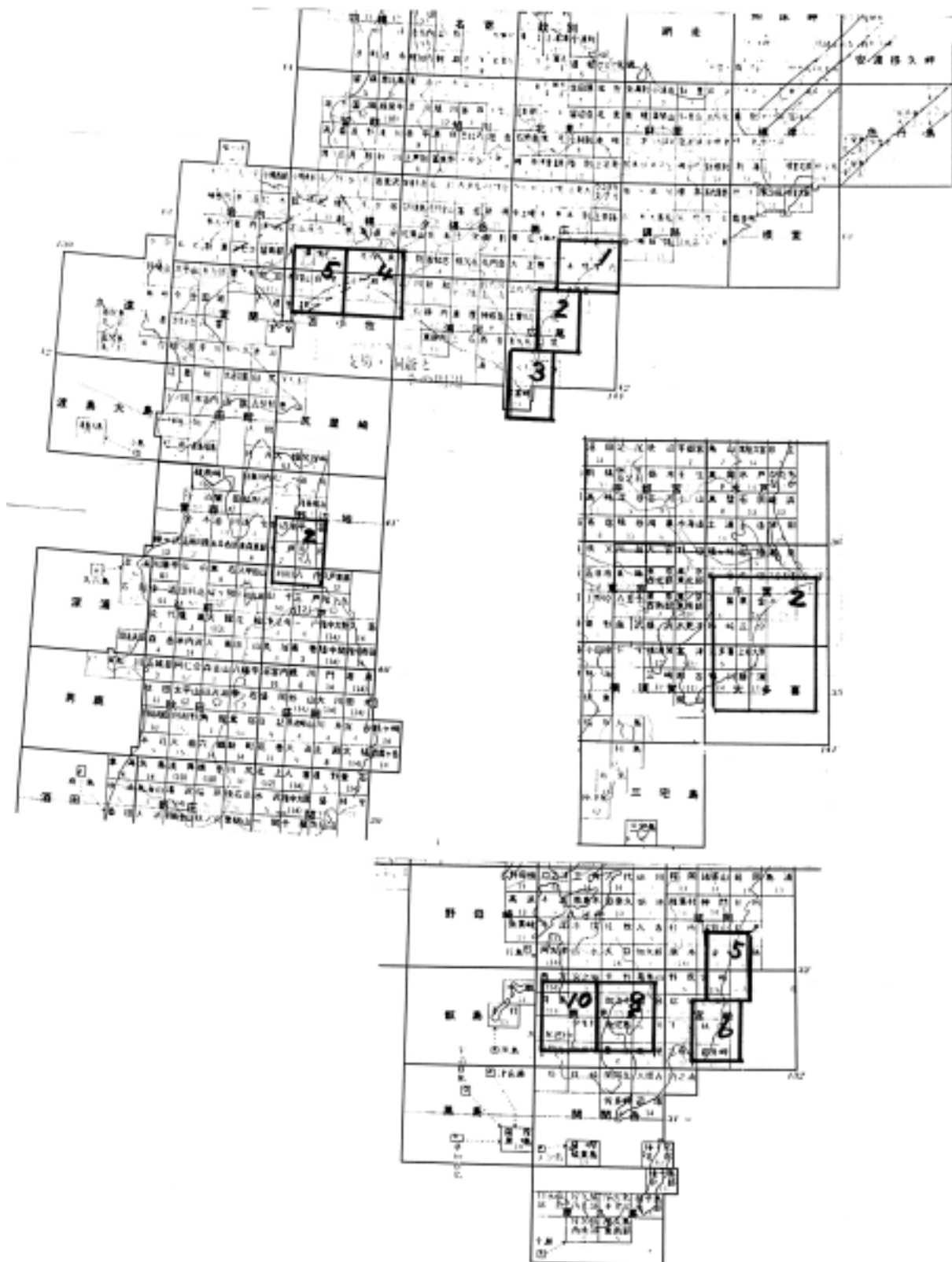


図2 陸海作戦用図作製位置の例



図3-1 集成五万分一地形図東京4号
昭和20年製版(右上部分:八王子に相当)。軍事施設の入っているもの。原図を50%縮小。



図3-2 集成五万分一地形図東京4号
昭和20年製版(右上部分:3-1と同位置)。内容の古く戦時改描も施された図使用。原図を50%縮小。

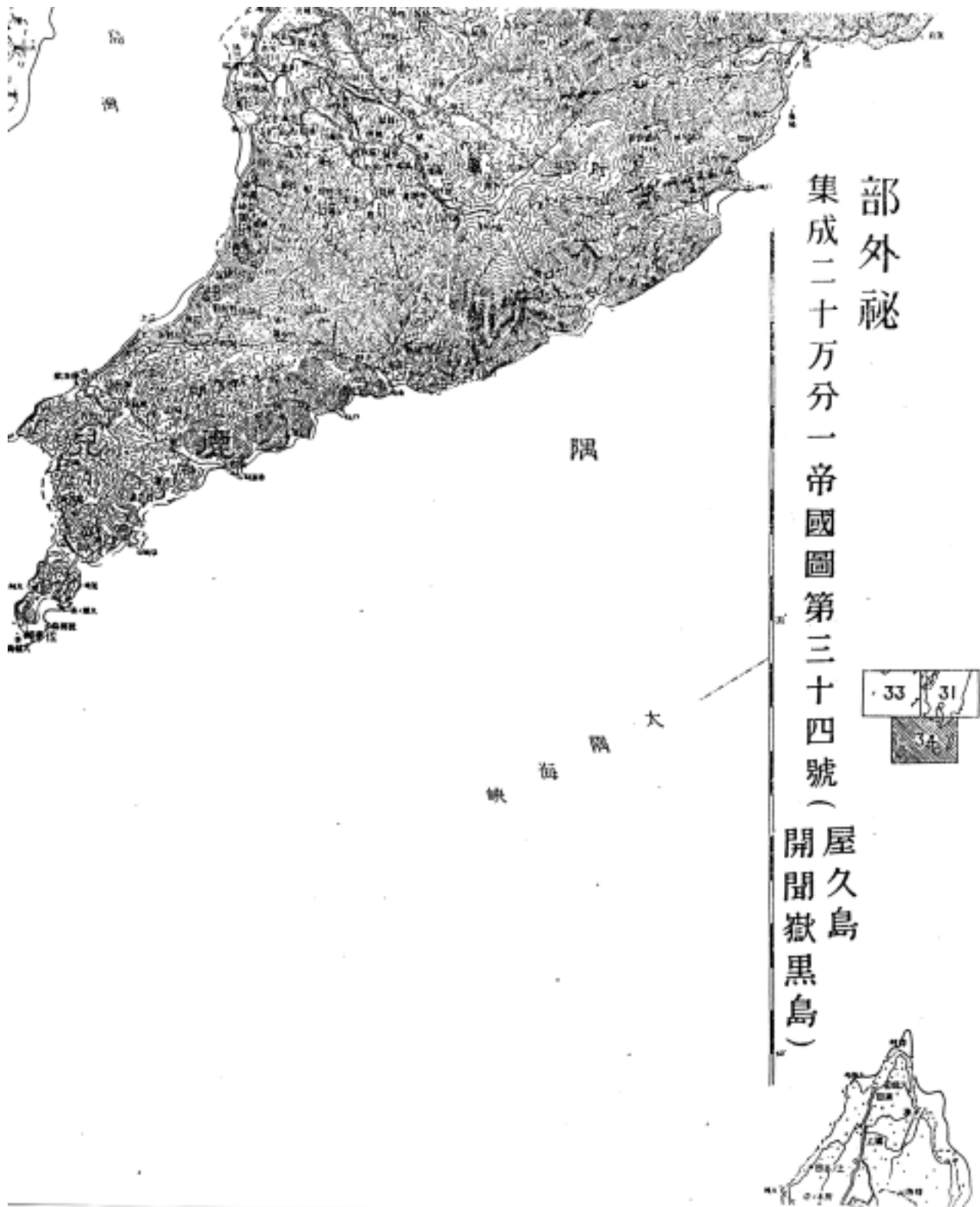


図4 集成二十万分一帝國圖第三十四號(部分)

なお本図中には当時未測の硫黄島、竹島は破線で描かれている。原図を80%縮小。

注意
 1.本圖ハ陸圖ヲ主用セル關係上地名等ハ
 右讀ナリ.但シ機外記事ハ左讀トス
 2.海部ハ小尺度ノ海圖ヲ擴大セルモノナ
 ルニ付航路用トシテハ不適當ナリ

參謀本部
 令
 (昭和20年3月作製)

陸海作戰用圖(關東)二
 十萬分一
 (35)

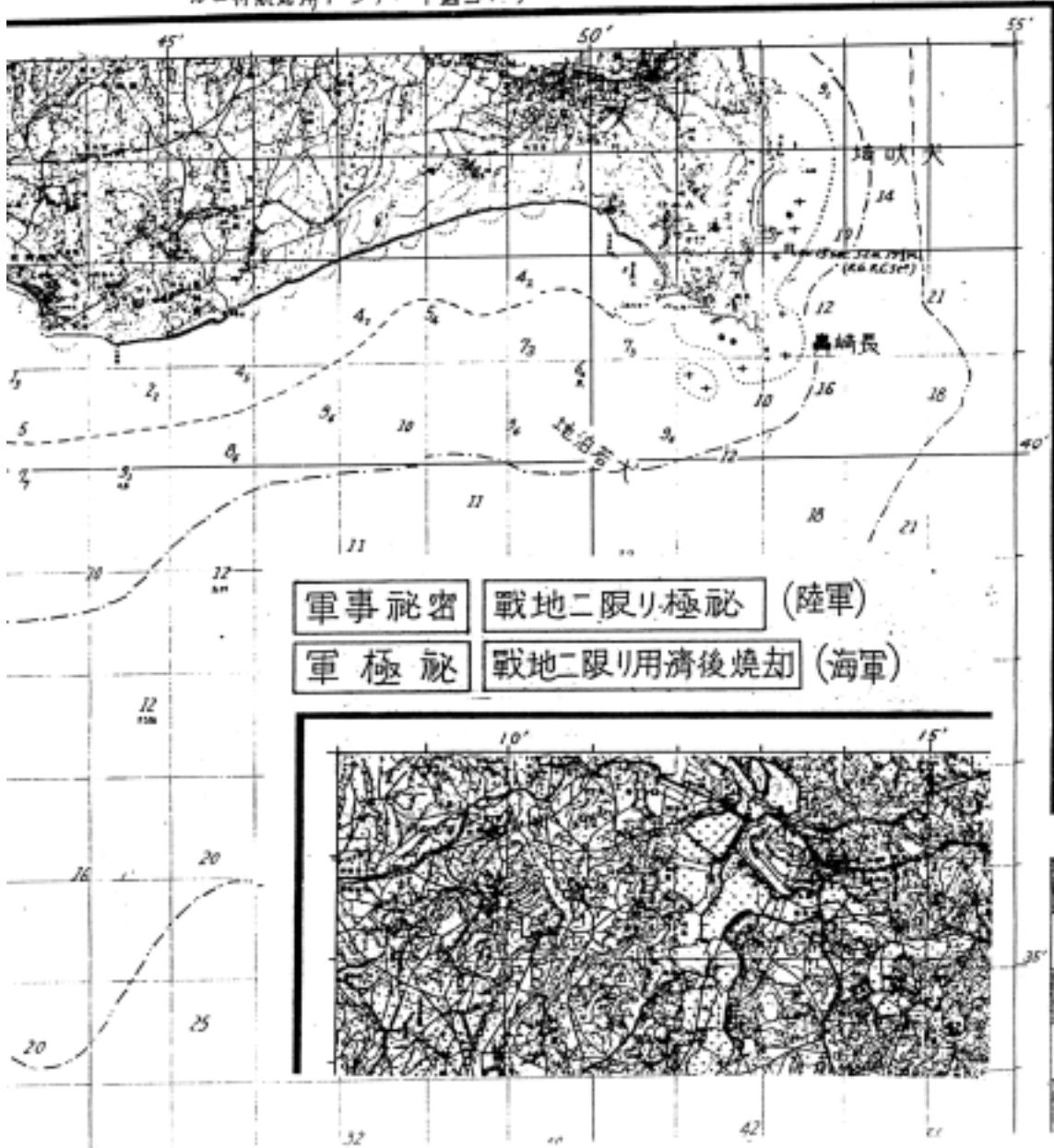


圖5 陸海作戰用圖關東其ノ二 1:100,000 千葉附近(部分)
 原圖を80%縮小。